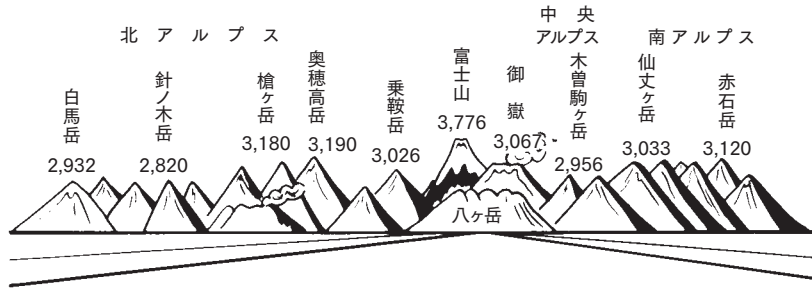


第 61 号

平成29年11月



# 砂防ニュースレター「長野」



梨子沢砂防堰堤(南木曾町)

## 目 次

新砂防課長あいさつ ..... 2  
 平成29年度砂防関係予算 ..... 2  
 「全国治水砂防協会通常総会」開催される ..... 3  
 宮川元会長、全国協会で表彰される ..... 3  
 「長野県治水砂防協会通常総会」開催 ..... 4  
 着任挨拶：利根川水系砂防事務所長 ..... 5

飯山市井出川山腹崩落災害の  
 対応について ..... 6~7  
 土砂災害防止法の一部改正について ..... 8  
 長野県砂防ボランティアだより ..... 9~11  
 異動の挨拶：前参事兼砂防課長 ..... 11  
 長野県砂防課人事異動・県協会行事等予定 ..... 12

## 新砂防課長あいさつ



**砂防課長  
田下 昌志**

この4月から蒲原潤一課長の後任として着任いたしました。どうぞよろしくお願  
いいたします。昨年度は、建設部道路管理課で道路施設の長寿命化対策や交通安全  
事業、道路災害の緊急的な対応などのお手伝いをさせていただきました。

県砂防課での勤務は三度目となります。この間、国土交通省への二年間の退職派  
遣もあり、砂防事業に直接従事するのは、通算で十年目となります。

近年、温暖化の影響が懸念され、気温の寒暖の差が激しく、雨の降り方が局地的  
に激甚化してきております。今年の5月に発生した飯山市の土砂崩落に伴う土石流  
災害では、未だに4世帯の方々が避難生活を強いられるなど、社会生活に多大な影  
響を与えております。この大規模な土砂崩落も気温の急激な上昇に伴う融雪が原因  
と推定しております。また、7月のゲリラ豪雨では、長野市中条地区や若槻地区な  
どの人家裏の斜面が崩れる等の土砂災害が発生しております。改めて被災された地域の皆様にお見舞い  
申し上げますとともに、一日も早い地域の復興に努めて参りたいと思います。

土砂災害から住民の皆様の生命を守るためには、ハード対策を着実に進めるとともに、ソフト対策が  
住民の皆様の意識の中に確実に定着していることが重要です。そのためには、予算確保に向けた取り組  
みを展開することは元より、住民の皆様や市町村、県の各部局が共に連携して、きめ細かな情報を共有  
していく取り組みが必要です。魅力ある地域づくりの礎は、地域の安全・安心にあることは明らかです。  
砂防課職員一丸となって課題に取り組んで参りたいと存じます。

引き続き、市町村長さんをはじめ、関係の皆様方のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 平成29年度 砂防関係予算

平成29年度の本県砂防関係事業の当初予算は、補助事業公共事業費が110億円余りで対前年比1.123、県  
単独公共事業が4億6千万円余で対前年比99.6となっており、災害関連事業等加えた全体事業費は、127  
億円余、対前年比1.11となっています。

なお、28年度9月補正予算において、経済対策として補助・県単独公共事業で24億円余を計上してお  
り、平成29年度当初予算と併せて151億円余、対前年比1.322となります。

(単位:千円)

事業名	H28.9月補正 (経済対策分) (A)	H29年度 当初予算 (B)	(A) + (B) (C)	H28年度 当初予算 (D)	対前年 当初比 (B)/(D)	H28.9月 補正含み (C)/(D)
	●砂防総務費	0	260,488	260,488	281,524	0.925
●補助公共事業						
□砂防費	1,210,600	6,566,400	7,777,000	5,342,000	1.229	1.456
□地すべり対策費	446,000	1,892,800	2,338,800	2,342,000	0.808	0.999
□急傾斜地崩壊対策費	332,800	2,620,800	2,953,600	2,184,000	1.200	1.352
小計	1,989,400	11,080,000	13,069,400	9,868,000	1.123	1.324
●災害関連事業						
□砂防費		300,000	300,000	300,000	1.000	1.000
□地すべり対策費		300,000	300,000	300,000	1.000	1.000
□急傾斜地崩壊対策費		200,000	200,000	200,000	1.000	1.000
小計	0	800,000	800,000	800,000	1.000	1.000
●県単独公共事業費						
□砂防費	245,500	243,000	488,500	244,000	0.996	2.002
□地すべり対策費	79,500	93,700	173,200	94,200	0.995	1.839
□急傾斜地崩壊対策費	106,000	127,600	233,600	128,100	0.996	1.824
小計	431,000	464,300	895,300	466,300	0.996	1.920
●砂防受託費		100,000	100,000	30,000	3.333	3.333
計	2,420,400	12,704,788	15,125,188	11,445,824	1.110	1.321



## 全国治水砂防協会通常総会開催される



全国治水砂防協会通常総会の様子



宮川正光氏 受賞

平成29年5月25日、(一社)全国治水砂防協会の第81回通常総会がシェーンバッハ・サボーにおいて多数の会員が出席されました。来賓として国会議員の皆様、国土交通省関係者など大勢の方々が臨席し盛大に開催されました。本県からは、藤澤泰彦会長をはじめ総勢88名(出席会員56名の内33名は市町村長の皆様、8名の副市町村長様)にご出席いただきました。総会に先立って、平野啓子氏が「『語り』と砂防と私」と題した特別講演が行われました。

総会は始めに、綿貫民輔会長が挨拶の後、議案の審議が行われ、平成28年度事業報告・収支決算報告、平成29年度事業計画・収支予算案について採決、全会一致をもって承認されました。

続いて功労者表彰が行われ、宮川正光氏(元長野県治水砂防協会会長)が受賞されました。

通常総会終了後、県協会は砂防講演会及び意見交換会を開催しました。この講演会は、砂防事業の理解を深めるため(一社)全国治水砂防協会通常総会に併せ毎年行っているものです。

今年は、講師に西山幸治国土交通省水管理・国土保全局砂防部長をお招きして「土砂災害を防ぎ 命とくらしを守る」について、岡本正男(一社)全国治水砂防協会理事長より「近年の

災害からの教訓」について、ご講演いただきました。その後、田村圭司利根川水系砂防事務所長、田中秀基富士川砂防事務所長、五十嵐祥二松本砂防事務所長、森下敦湯沢砂防事務所長、綱川浩章多治見砂防国道事務所長の皆様より話題提供をいただきました。最後に、田下昌志砂防課長より、『平成29年5月19日飯山市照岡大どう地先で発生した土砂災害への対応について』説明がありました。

毎年、大勢の皆様にご参加いただき、この場をお借りして御礼申し上げます。



講師の西山砂防部長



講師の岡本理事長



「立山会議室」での講演会

## 長野県治水砂防協会通常総会開催

平成29年8月4日、長野市内において、第79回通常総会が多数のご来賓の方々をはじめ、県内市町村長並びに関係者ご出席のもと、開催されました。

藤澤泰彦会長による開会の挨拶の後、砂防事業の推進に永年にわたりご尽力いただいた長野県治水砂防協会元副会長で上伊那支部前支部長の唐木一直南箕輪村長、長野支部前事務局長の西澤和幸氏の御二方の表彰を行いました。

続いて、ご来賓の篠原孝衆議院議員、小松裕衆議院議員、木内均衆議院議員、栗原淳一国土交通省水管理・国土保全局砂防部長、岡本正男一般社団法人全国治水砂防協会理事長、高橋岑俊長野県議会危機管理建設委員長、油井均長野県建設部長の皆様からご祝辞を賜りました。

議事では平成28年度事業報告及び歳入歳出決算報告、平成29年度事業計画・収支予算（案）が審議され、いずれも原案どおり可決されました。任期満了に伴う役員改選が行われ、藤澤会長以下、現役員が再任されました。さらに、本県の砂防事業の一層の推進を図るための決議文（案）が提案され、満場一致で決議されました。

総会終了後、砂防講演会が開催され、栗原淳一国土交通省砂防部長から「砂防行政に関する最近の話題」、岡本正男（一社）全国治水砂防協会理事長から「砂防法制定120年」と題してご講演をいただきました。最後に五十嵐祥二松本砂防事務所長、森下淳湯沢砂防事務所長、綱川浩章多治見砂防国道事務所長、椎葉秀作天竜川上流河川事務所長、小町谷章富士川砂防事務所副所長の皆様から話題提供をいただきました。



議事の進行をする藤澤長野県治水砂防協会会長



栗原淳一砂防部長の講演会の様子



岡本正男 全国治水砂防協会理事長の講演会の様子



## 着任のあいさつ



国土交通省 関東地方整備局 利根川水系砂防事務所  
所長 田村 圭司

4月1日付けで関東地方整備局利根川水系砂防事務所長に着任しました田村圭司（たむらけいじ）です。長野県治水砂防協会の皆様には、平素より浅間山の直轄火山砂防事業の推進にあたり、ご支援をいただいていることに深く感謝申し上げます。また、これから大変お世話になりますが、どうぞよろしく願いいたします。

利根川水系砂防事務所は、利根川上流域の砂防事業及び群馬県藤岡市の譲原地区で地すべり対策事業を実施しており、長野県内では平成24年度からは浅間山の直轄火山砂防事業に着手しているところです。この直轄火山砂防事業では、浅間山で冬期に火砕流が発生した場合に融雪型火山泥流が流下し、下流の小諸市、佐久市、御代田町、軽井沢町では、その影響が大きいことから、その減災対策として行う事業です。

特に、小諸市に位置する蛇堀川においては、今年の3月11日に小諸市をはじめとする関係者の協力のもと長野県側で初となる蛇堀川砂防堰堤工事の起工式を開催しました。関係する皆様には大変お世話になりました。改めて感謝申し上げます。



蛇堀川砂防堰堤工事起工式



濁川(暫定緊急対策施設)

浅間山は、長野県東部に位置する活火山で、有史以来多くの噴火を繰り返しており、20世紀以降でも活発に活動しており、最近では平成27年に小規模な噴火が発生しています。

この平成27年の噴火前には、火山活動の活発化に伴い噴火警戒レベルが2に引き上げられており、こうした状況から当事務所でも冬期に備えた緊急時の対策として、事業開始後、備蓄していたコンクリートブロックを使用した砂防堰堤の工事を行い、昨年度までに蛇堀川の外、船ヶ沢川、濁川など5渓流で整備を実施し、備えてきたところです。

また、蛇堀川砂防堰堤は、長野県側での基幹的施設の第一号であり、地域の皆様の生命と財産を守る重要な施設です。現在、工事が本格的に進められており早期の完成を目指しているところです。

さらにソフト対策として、積雪深計、降灰量計や溪流監視カメラ等の整備のほか、噴火後の土石流や融雪型火山泥流により想定される被害区域をリアルタイムハザードマップにより関係自治体等へ情報提供を行うなどの支援を予定しています。

最後に、浅間山は現在も活発な活動を行っており、火山活動には引き続き注視しながら、事業実施にあたっては地域の声に耳を傾け、地域の安心安全の確保と地域活性化に資する施設整備を進めて参りますので、協会の皆様には引き続きご支援、ご協力をいただきますようお願いいたします。

## 飯山市井出川山腹崩落災害への対応について

平成29年5月19日早朝、飯山市照岡大どう地先の井出川上流域において、大規模な崩壊が発生しました。その後、5月20日及び22日には断続的な土石流の発生により泥流が千曲川まで到達しました。災害当日～1週間程度前にまとまった降雨は確認されていないことから、崩壊の発生誘因は4月中旬から続き、発災1週間前から急速に進行したと推定される融雪による斜面への水分供給と考えられます。

土石流により土砂及び大量の流木が流下しましたが、下流に整備されていた桑名川砂防堰堤で土砂・流木を捕捉することにより下流への流出量をコントロールできたため、家屋、JR飯山線、県道等の保全対象への被害を防止することができました。



5月22日土石流発生状況



桑名川砂防堰堤と保全対象

### 桑名川砂防堰堤による効果



堰堤高9割まで捕捉

5月20日



大量の流木を捕捉

5月22日



5月19日の発災直後から飯山市及び北信建設事務所によるUAV（ドローン）を活用した現地調査を行い、同日より土石流センサー設置等の緊急調査、翌20日より大型土のう等の応急対策に着手しました。

### 警戒避難体制

- ・雨量計1基、監視カメラ4基設置
- ・土石流センサー2箇所設置
- ・24時間目視監視  
(リングネット設置により終了)

### 避難状況

- ・5/20 19:00 避難勧告
- ・5/22 14:45 避難指示  
(5/23、25に一部解除)

### 応急対策

- ・鋼製牛柵設置、河床整理完了(6/19)
- ・大型土のう、コンクリートブロック  
設置完了(6/23)

### 関係機関による現地調査等

- ・土砂災害専門家(国総研等)(5/23)
- ・北陸地方整備局(5/26)
- ・砂防学会、地すべり学会専門家(6/20)



土石流センサー設置状況



土砂災害専門家による現地調査



鋼製牛柵工流木捕捉状況



リングネット設置状況

また、崩壊による土砂が溪流に堆積しており、放置すれば次の出水により容易に流下し、下流に著しい災害を及ぼす恐れがあり、緊急的な対策が必要であることから、災害関連緊急砂防事業を申請し、事業費約7.3億円が採択されました。災害関連緊急砂防事業では、桑名川砂防堰堤の除石及び新たな砂防堰堤の建設を行います。

# 土砂災害防止法の一部改正について

要配慮者利用施設の避難体制の強化を図るため、平成29年6月19日に改正された土砂災害防止法（法律名「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」）の改正ポイントは、次のとおりです。

砂防課では、庁内の関係各課と連携して、要配慮者利用施設への改正内容の周知、避難確保計画の作成ならびに避難訓練の実施の促進に向けて取り組んでいます。

ポイント!

土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設※の管理者等は、**避難確保計画**の作成・**避難訓練**の実施が**義務**となりました。

※ 市町村地域防災計画にその名称及び所在地が定められた施設が対象です。

要配慮者利用施設とは…

社会福祉施設、学校、医療施設その他の主として防災上の配慮を要する者が利用する施設

1

## 避難確保計画の作成

「避難確保計画」とは、土砂災害が発生するおそれがある場合における**利用者の円滑かつ迅速な避難の確保を図る**ために必要な次の事項を定めた計画です。

- ▶ 防災体制
- ▶ 避難誘導
- ▶ 施設の整備
- ▶ 防災教育及び訓練の実施
- ▶ そのほか利用者の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な措置に関する事項

2

## 市町村長への報告

避難確保計画を作成・変更したときは、遅滞なく、その計画を**市町村長へ報告**する必要があります。

3

## 避難訓練の実施

避難確保計画に基づいて避難訓練を実施します。職員のほか、可能な範囲で利用者の方々にも協力してもらうなど、**多くの方々**が**避難訓練に参加**することで、**より実効性が高まります**。

!

避難体制のより一層の強化のために、関係者が連携して取り組むことが重要です!



この土砂災害防止法の改正に伴い『土砂災害防止法施行規則』は、平成29年6月19日、『土砂災害防止対策基本指針』は、平成29年8月10日に改正されました。



## ●平成29年度長野県砂防ボランティア協会総会が開催されました

平成29年6月6日に長野市生涯学習センターで、平成29年度長野県砂防ボランティア協会総会が開催されました。

会員134名が出席した今年の総会では、平成23年から6年間会長を務められた尾坂壽夫氏が退任され、新たに内山寿長副会長を会長に選任する等の役員改選が行われるとともに、平成28年度の事業報告・会計報告、平成29年度の事業計画等が承認されました。

引き続き行われた講習会では、田下砂防課長から「最近の長野県砂防行政」と題して講演がありました。この中で、長野県内で発生した土砂災害の状況や、5月に発生した飯山市照岡大どうの土石流の映像を踏まえ、警戒避難体制づくりなど砂防事業の重要性についてお話をいただきました。



内山新会長



総会の様子

会長	内山 寿長	新任
副会長 兼事務局長	松下 泰見	再任
副会長	中島 一郎	新任
副会長	宮澤 洋介	再任
副会長	手塚 秀光	新任

平成29年度の主な役員

続いて、国立長野工業高等専門学校環境都市工学科の酒井美月准教授から、「繋がるしごと」と題して講演をいただきました。酒井先生は、主に土壌における農薬汚染の研究をされておりますが、長野高専卒業後、様々な大学で研究を続けられ、カンボジア環境省での在外研究員派遣等を踏まえて、再び母校の高専で研究されており、いろいろな人との関わり、巡り合わせの大切さを話されました。



酒井先生の講演の様子

現在、多くの公共機関の委員会等に参加されていますが、委員会についても、巡り合わせの大切さから、出来る限り参加することを心情とされていることを話されました。また、講演の冒頭で、工学系の仕事は基本的に男性社会であり、これまで女性が研究者として残ることは難しい社会だったのですが、女性の研究者の増加の波に乗れたことで、研究者としての道が開けたといった経験談もユーモアを加えながら、話されました。

当協会は、主に土砂災害防止を目的として組織されていますが、こうした経験談を踏まえた貴重なお話をお聞きすることができ、参加された会員からも感謝の言葉が多数寄せられるとともに、興味深く、多くのことを学ぶことのできた講演会でありました。

## ●平成29年度の主な活動について

### <土砂災害防止月間に伴う危険箇所点検パトロール>

毎年6月の土砂災害防止月間にあわせ、建設部の現地機関と合同で土砂災害危険箇所や砂防施設の点検パトロールを実施しています。

今年度は13建設事務所及び3砂防事務所から派遣要請があり、延べ51名の砂防ボランティア協会員が地元警察署、消防署、市町村、地方事務所、自治会代表者などの方々と点検パトロールを実施しました。点検には砂防や地すべりにおける専門的な知識と経験が必要であり、当協会員の参加が重要となっています。



危険箇所点検パトロールの様子

### <歴史的施設の維持管理活動>

当協会では、例年地域のみなさんとの協働による草刈り及び砂防施設点検を実施しています。今年も小川村薬師沢、松本市牛伏川、千曲市荏沢川を対象に汗を流しました。

小川村薬師沢での維持管理活動は年3回実施していますが、8月30日は小川中学校の全校生徒が、課外活動「一日小川」の一環として参加していただき、一



薬師沢での活動の様子

緒に汗を流しました。中学生の皆さんは、地元の方と共に維持管理活動に参加することで、地すべりに苦しんだ先人達が田畑を守るために実践してきた土砂災害への対応、砂防施設の歴史やその役割について学習を深めていただきました。

長野県砂防ボランティア協会ではこのような地域と連携した土砂災害防止活動に携わり、地域防災力の向上に貢献しています。



## <平成29年度(公社)日本地すべり学会 第56回地すべり研究発表会及び現地見学会への協力派遣>

本年は、ホクト文化ホールを本会場として、県内長野、松本、大町など、3方面での現地見学を行い盛大に開催されました。日本全国から、多数の関係者の方々がお越しいただき、現在の地すべりを取り巻く状況などについて、学術や現場などの幅広い方面からの発表が、各ホールで様々な形式でひらかれ、たいへんおおくの方々が、聴講に来ていただきました。長野県ボランティア協会として、会場の設営や運営に協力し、会の成功に貢献しました。



現地見学会



全国地すべり学会

### ●事務局からのお願い

地域の防災活動などで砂防ボランティアの派遣を希望される方は、長野県砂防ボランティア協会事務局（長野県建設部砂防課地すべり係内）までご相談ください。

## 異動のあいさつ



前参事兼砂防課長  
蒲原 潤一

長野県砂防課での二年間大変お世話になりました。皆様とともに県下の砂防行政の進展に取り組むことができましたこと、このうえなく光栄です。在任中、協会設立80周年記念式典など、長野県下の皆さんが全国に先駆けて地域の安全安心のために声をあげてこられた歴史を学び、その想いが今に引き継がれていることを実感しました。近年も土砂災害は頻発しています。県内被災地の首長様方が地域の復興のため、砂防を含めた様々な取り組みを真摯な姿勢で進めておられることに感銘を受けました。また、砂防関係事業の予定箇所におじゃまして自治会の皆さんから直接ご意見を拝聴する懇談の場を作っていただく取り組みもさせていただき、当方としても得難い機会となりました。このほかにも砂防事業へのご協力とご理解をたくさん頂戴し、この場をお借りして御礼申し上げます。豊かで美しくも時に厳しい一面を見せる信州の自然に磨かれながら長野県の砂防の組織や技術は歩んできたと思います。そのことに加えて、在任の二年間、地域の皆様やボランティア、建設業関係、学会、議会や行政を含めた市町村・県・国の関係の皆さんが、人と人とのつながりを大切にしながら歩んでおられることに強く胸を打たれました。当方としては今後も微力ながら様々な形で長野県を支えて参りたいと思います。

長野県治水砂防協会の今後のますますのご発展、県下の砂防と安全安心の促進をお祈り申し上げます。

## 平成29年4月 長野県建設部砂防課・人事異動

### ◎転 入

砂防課長へ  
 田 下 昌 志 (道路管理課長)  
 砂防課 課長補佐兼総務係長へ  
 北 澤 良 和 (佐久建設事務所)  
 砂防課 調査管理係へ  
 笹 田 麻 純 (諏訪建設事務所)  
 砂防課 調査管理係へ  
 篠 田 健 太 (木曾地方事務所)  
 砂防課 課長補佐兼砂防係長へ  
 西 澤 賢 (長野建設事務所)  
 砂防課 地すべり係担当係長へ  
 池 田 誠 (危機管理防災課)  
 砂防課 地すべり係へ  
 飯 島 良 和 (土尻川砂防事務所)

### ◎転 出

砂防フロンティア推進機構企画調査部長へ  
 蒲 原 潤 一 (砂防課長)  
 安曇野建設事務所 総務課へ  
 北 原 俊 樹 (総務係)  
 退職  
 今 井 文 乃 (調査管理係)  
 環境政策課 企画経理係へ  
 臼 井 雅 夫 (調査管理係)  
 木曾建設事務所 整備・建築課企画幹へ  
 丸 山 泰 正 (砂防係)  
 松本建設事務所 維持管理課へ  
 矢 口 大 輔 (地すべり係)  
 松本建設事務所 計画調査課へ  
 忠 地 孝 (地すべり係)

## 平成29年 行事等経過・予定

2月16～19日	第57回砂防および地すべり防止講習会	東京都：砂防会館別館1階
5月24日	全国治水砂防協会参与会	東京都：砂防会館別館3階
”	” 賛助会員情報連絡会議	東京都：砂防会館別館3階
5月25日	全国治水砂防協会通常総会	東京都：砂防会館別館1階
”	長野県治水砂防協会砂防講演会	東京都：砂防会館別館3階
6月1～30日	土砂災害防止月間	会議室「立山」
6月6日	長野県砂防ボランティア協会総会	長野市：生涯学習センター
7月11日	長野県治水砂防協会監査	長野県庁砂防課内
7月20日	長野県治水砂防協会理事会	長野市：ホテル国際21
8月4日	第79回長野県治水砂防協会通常総会	長野市：メルパルクNAGANO 3階
9月8日	第4回土砂災害対策実務講習会	東京都：砂防会館別館1階
10月19～20日	第6回砂防現地視察と討論会	熊本県：全国協会主催（首長対象）
11月9～10日	(一社)全国治水砂防協会 北陸信越地区支部長・参与会議	長野県：生坂村「やまなみ荘」
11月27日	全国治水砂防協会参与会	東京都：砂防会館別館3階
”	” 賛助会員情報連絡会議	東京都：砂防会館別館3階
11月28日	全国治水砂防促進大会	東京都：砂防会館別館1階
”	” 長野県治水砂防協会要望活動	東京都：衆・参議院議員会館、 国土交通省

●第61号 編集・発行 長野県治水砂防協会 〒380-8570 長野市大字南長野幅下692-2 県庁砂防課内  
 TEL：026(232)0144 E-mail：n.sabo@sky.plala.or.jp